

令和4年9月 斐伊川水系水質情報

令和4年9月(宍道湖13日・中海12日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	4. 6	△	平 年 並 み	4. 1	×	やや高い	4. 6	△	平 年 並 み
全窒素	上層	0. 54	△	平 年 並 み	0. 46	△	平 年 並 み	0. 56	△	平 年 並 み
全リン	上層	0. 060	△	平 年 並 み	0. 051	△	平 年 並 み	0. 074	△	平 年 並 み
Chl-a	上層	33	△	平 年 並 み	28	×	やや高い	18	△	平 年 並 み
塩化物イオン	上層	4, 160	×	やや高い	8, 300	△	平 年 並 み	9, 850	△	平 年 並 み
	下層	4, 220	×	やや高い	15, 000	△	平 年 並 み	12, 000	△	平 年 並 み
溶存酸素	上層	9. 1		やや低い	10. 1		平 年 並 み	10. 7		平 年 並 み
	下層	8. 2		平 年 並 み	5. 7		平 年 並 み	10. 0		平 年 並 み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項 目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
C O D	全層	4. 4	横ばい	4. 3	横ばい	5. 5	やや下降
全窒素	上層	0. 49	横ばい	0. 52	やや下降	0. 54	横ばい
全リン	上層	0. 066	横ばい	0. 060	やや下降	0. 067	横ばい

宍道湖の透明度は2. 6mから2. 0mと下降し、良好。中海の透明度は2. 5mから2. 3mと横ばいで、平年並み。米子湾の透明度は先月と同様に1. 9mと横ばいで、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

- 前月値±標準偏差値以上、以下の変化……

上昇、下降
 注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ 68.2%
- 前月値±標準偏差値の 1/2 以上、以下の変化…

やや上昇、やや下降、横ばい
 平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ 95.5%
- 前月値±標準偏差値の 1/2 以内の変化…

横ばい
 平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ 99.7%